

令和7年度
第2回林土連理事会

開催日：令和7年9月9日（火）

開催場所：海運クラブ 303会議室

一般社団法人 日本林業土木連合協会

令和7年度 第2回林土連理事会

次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

議案1 令和7年度林土連技術現地研修会の開催について

議案2 林土連青年交流会（仮称）発足検討委員会の設置について

議案3 その他

4 報告・説明事項

- ・ 業務執行状況報告について
- ・ 重大災害の発生について
- ・ 令和7年度技術・安全対策実施方針について
- ・ 令和7年度林土連コンプライアンス講習会等の開催について
- ・ 自由民主党森林整備・治山事業促進議員連盟の総会について
- ・ 令和8年度林野公共事業予算に関する要望活動について
- ・ その他

5 閉 会

- 3 記念撮影 17:00
 軽井沢プリンスホテル バンケットエントランス
- 4 研修交流会 18:00~20:00
 会 場：1階 メインバンケットホール「長野」
 出席者：約150名（来賓、スタッフを含む）
- (1) 開 会 18:00
 司会進行：佐久ケーブルテレビ ^{おおほ}大峽 恵理子 主任
- (2) 開会の挨拶
 林土連 新谷 龍一郎 会長
- (3) 御来賓の挨拶
 長野県 阿部 ^{しゅいち}守一 知事
- (4) 御来賓の紹介
 国会議員 井出 庸生 衆議院議員 ほか
- (5) 酒樽鏡開き
 御来賓、林土連役員
- (6) 乾 杯
 林土連 田中 進 副会長
- (7) アトラクション
 御代田龍神太鼓
 信州ブレイブウォリアーズチア「JASPERS」
- (8) 次期当番協会の挨拶
 前橋林業土木協会 鈴木 秀城 会長
- (9) 中締め
 林土連 泉 巖 副会長
- (10) 閉 会 20:00

Ⅱ 令和7年10月23日(木)

- 1 朝食 6:30～
1階 メインバンケットホール「長野」

- 2 現地研修 8:30～12:00
 - (1) 出発 8:30 (バスへの乗車 8:20～)
 - (2) 現場視察 9:10～10:30
濁川地域防災対策総合治山工事現場(浅間山国有林) ほか
現地説明: 東信森林管理署 ほか
 - (3) 軽井沢プリンスショッピングプラザ 11:10～11:40
 - (4) 軽井沢プリンスホテルウエスト 12:00

- 3 昼食会 12:00～12:50
場 所: 軽井沢プリンスホテルウエスト
会 場: 1階 メインバンケットホール「長野」
出席者: 約150名(スタッフを含む)

- 4 解散 13:00

- 5 帰 路
東京方面: 軽井沢駅 13:57 発 → あさま 618 号 → 東京駅 15:12 着
長野方面: 軽井沢駅 13:21 発 → あさま 611 号 → 長野駅 13:51 着

(案)

林土連青年交流会（仮称）発足検討委員会の設置について

林土連の令和７年度事業計画に基づき、青年経営者等の連合組織として「林土連青年交流会（仮称）」の発足を検討するにあたり「青年交流会発足検討委員会」（以下、「委員会」という。）を設置する。

1 委員会設置の趣旨

青年ならではの行動力と発想力を活かし、魅力ある森林土木工事の実現と次世代を担う若手の育成・人づくりを目的とする青年経営者等の全国規模の交流の場（「林土連青年交流会（仮称）」）を設けることを検討する。

2 活動

委員会は、上記の趣旨のもと次の活動を行う。

- (1) 青年経営者等で構成する青年部等（以下、「青年部等」という）の各地域（林業土木協会等）での設立に関する助言・協力
- (2) 林業土木協会に属する青年経営者等との意見交換
- (3) 青年経営者等が全国規模で交流する組織の必要性の検討
- (4) その他委員会が定める事項

3 委員

委員会は、若干名の委員で構成し、林土連会長が委嘱する。

- (1) 委員の任期は２年とする。
- (2) 委員会に委員長及び副委員長を置く。
- (3) 委員長は、委員会をとりまとめて管理する。
- (4) 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けた時はその職務を行う。
- (5) 委員会発足時の委員は、既に青年部等の組織を有する林業土木協会の青年部等の代表及び事務局長を主体として構成する。
- (6) 委員名簿は「林土連青年交流会発足検討委員名簿(案)」のとおり。

4 委員会

委員会は、必要に応じて委員長が招集する。

また、委員会の開催は、リモート方式によることができるものとする。

5 報告

委員長は、委員会の結果を林土連会長に報告する。

6 事務局

委員会の業務を執行するため、事務局を林土連に置く。

7 経費

委員会開催のための経費及び委員会活動に要する経費の一部は、林土連理事会の承認を得て、林土連の予算（事業推進費）をあてることができるものとする。

8 期間

検討委員会の設置期間は5年以内とし「林土連青年交流会（仮称）」の発足が決定した場合には、委員会の名称を「発足準備委員会」に変更して青年交流会発足に向けた準備を進めることとする。

令和7年9月9日

一般社団法人 日本林業土木連合協会

(案)

(一社) 日本林業土木連合協会
青年交流会発足検討委員会委員名簿

委員	坂田啓一郎	札幌林業土木協会青年会議会長
委員	金子広孝	名古屋林業土木協会青年部会長
委員	永野真哉	九州林業土木協会青年部会長
委員	中塚智之	札幌林業土木協会事務局長
委員	千葉求	名古屋林業土木協会事務局長
委員	森本義春	九州林業土木協会事務局長
委員	堂本整	日本林業土木連合協会専務理事

令和7年度前半の業務執行状況報告

業務執行の概要

令和7年1月から8月までの主な業務執行状況は以下のとおり。
なお、主な活動状況については、別紙の「参考」に記載のとおり。

1 林野公共事業予算の確実な確保に関する取り組み

① 森林整備・治山事業促進議員連盟総会への出席

下記の議連総会に出席し、来年度の林野公共事業予算確保に関する要望を行った。

・第1回議連総会

日 時：5月19日 15:00～

場 所：自由民主党本部 701会議室

出席者：新谷会長 堂本専務理事

・第2回議連総会

日 時：8月26日 15:00～

場 所：参議院議員会館 B109会議室

出席者：泉副会長 堂本専務理事

② 林野庁幹部等関係機関への予算要望活動

林土連三役会議を7月10日に開催し「令和8年度当初予算における林野公共事業予算に関する要望書」を取りまとめ、農林水産省政務三役及び林野庁幹部に提出し、来年度の林野公共事業予算の確実な確保について要望を行った。

2 適正な利潤の確保への取り組み

① 森林土木事業設計・施工関係団体連絡会を開催

コンサルタンツ協議会等の設計・積算関係団体との意見交換会を1月26日に林野庁の担当者を交えて行い、現場施工者の立場から、現場の実施測量、治山や林道の計画の考え方、設計・積算の精度向上などについて意見陳述を行った。

② 設計積算基準等の改正に関する勉強会を開催

令和7年度における設計積算基準等の改正に関する勉強会を林野公共工事関係3団体と共同で4月18日に開催し、林野庁に対し歩掛の改正内容等の詳細について説明を求めた。

また、林野庁の説明内容については、各林業土木協会に情報共有を行った。

③ 森林土木工事に関する技術者アンケート調査の実施

森林土木工事の現場技術者が日頃から感じている課題や要望等を把握し、今後の林土連の様々な活動に活用すること等を目的に、技術者アンケートを実施した。

アンケートには全国の現場技術者178名から回答があり、結果については、各林業土木協会に共有するとともに、林野庁にも情報提供し、森林管理局・署の担当者にも共有するよう求めた。

④ 選ばれる森林土木に関するキャラバンへの参加

林野庁が北海道森林管理局で開催したキャラバンに道内の各林業土木協会と一緒に参加し、林野庁、森林管理局・署に現場実態を説明するとともに工事発注環境の改善に向けた取り組みについて要望を行った。

3 労働安全確保への取り組み

5月中旬に、2日連続して重大災害（死亡災害）が発生したことを踏まえ、同種・類似の災害を繰り返し発生させないよう、「労働災害発生に関する注意喚起と安全指導の徹底」に関する指導文書を各林業土木協会長あて発出した。

また、労働安全意識の高揚を目的として、労働災害防止ポスターを作成し、各林業土木協会に配布するとともに、会報5月号を労働安全特集号として発行した。

4 コンプライアンス活動に関する取り組み

林土連コンプライアンス委員会を1月に開催し、令和7年度も林土連主催のコンプライアンス講習会を開催して会員のコンプライアンス意識の向上に努めることなどの今年度の計画を決定し、会員のコンプライアンスの遵守を一層進めることとした。

また、各林業土木協会が実施している社会貢献活動については、逐次、林土連のHPに掲載して情報発信を行っている。

5 調査研究及び資料の収集

「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査研究」を今年度も継続して実施することとし、各林業土木協会に現地調査の実施を依頼するとともに、調査の結果のとりまとめに関する委託契約を測量・設計コンサル会社と締結した。

また、会員が実施している治山・林道工事をPRすることを目的に、林野庁治山・林道工事コンクールを受賞した工事現場の写真を林土連HPに掲載した。

6 林業土木事業に関する技術力の向上に関する取り組み

林業土木協会が会員企業の技術者の技術力向上を目的として開催する技術者研修会等に講師として参加（5協会7会場）し、工事の設計・積算内容の改善や施工管理に関する現状と今後の取り組みについて講演を行った。

至 急

事務連絡
令和7年5月16日

林業土木協会長 各位
(林業土木協会事務局長扱い)

(一社) 日本林業土木連合協会
専務理事 堂本 整

**【重要】 2日連続しての重大災害（死亡災害）発生について
（労働災害発生に関する注意喚起と安全指導等の徹底）**

令和7年5月14日に四国林業土木協会管内の林道災害復旧工事現場において、翌15日には名古屋林業土木協会管内の林道落石除去作業現場において、重大災害（死亡災害）が続けて発生してしまいました。

今回の労働災害の発生状況や原因などの詳細については現在調査中ですが、林土連会員企業が受注する工事現場において、2日続けて重大災害が発生してしまったことは大変残念であり、今後、同種・類似の災害を繰り返さないことが重要であると考えています。

各林業土木協会におかれましては、傘下の会員に対して、今回の重大災害発生について周知いただくとともに、同種・類似の災害が発生しないよう労働安全衛生に関する指導並びに現場の総点検等についてご指導をお願いします。

具体的には、現在、森林管理署等発注の治山工事、林道工事、災害復旧工事、建設機械チャーターによる林道修繕工事等に従事している会員企業に対し、来週19日（月）もしくは20日（火）に、別添の資料等を活用し、各工事施工現場において安全指導や安全点検等を各企業の安全指導者などが主体となって実施し、労働災害発生の未然防止に努めるよう要請をお願いします。

また、各林業土木協会の事務局において、傘下の会員の安全指導等の実施状況を必ず確認していただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和7年度 林土連技術・安全対策実施方針

令和7年4月2日 林土連技術・安全委員会

1 施工技術の向上対策

項 目	具 体 的 実 施 内 容	実 施 時 期 等
<p>1 技術者の養成及び研修について</p> <p>(1) 林土連技術現地研修会の開催</p>	<p>林土連技術現地研修会は、会員の技術の向上や相互の連携・交流を図ることを目的として災害復旧等の工事施工地、有名林業地等で平成20年度から実施しており、今年で16回目の開催となる。</p> <p>令和7年度は長野林業土木協会の協力により軽井沢町で開催する予定。</p>	<p>10月22～23日に開催予定</p>
<p>(2) 林土連技術・安全委員会の開催</p>	<p>技術の向上、労働災害防止のための対策等の企画・立案を行う。</p>	<p>第1回4月2日に開催（リモート） 第2回10月上旬に開催予定</p>
<p>(3) 技術担当者連絡協議会の開催</p>	<p>会員の施工技術の向上等を図ることを目的として技術担当者連絡協議会を開催する。</p> <p>① 各協会の会員企業から、林業土木工事に係る施工上の課題や設計積算等の改善事項、労働災害防止対策等に関する意見・要望を徴収する。</p> <p>② 第2回林土連技術・安全対策委員会において、各協会から提出された意見・要望事項の内容を精査し、林野庁への改善要望事項として取りまとめる。</p> <p>③ 林野庁及び各協会の担当者が出席のもと技術担当者連絡協議会を開催して、林土連からの改善要望事項に対する林野庁の見解や指導を仰ぐとともに、意見交換を通じて現場実態の共有を図り、各種施策への反映に繋げるよう要請する。</p> <p>④ 技術担当者連絡協議会で協議した改善要望事項等については、林野庁の回答・意見等を付して各協会を通じて全会員と共有を図る。</p>	<p>11月17日に開催予定</p>

<p>(4) 森林分野CPD研修に関する取組</p>	<p>総合評価落札方式の入札制度において、加点の対象となっているCPD研修制度の普及・促進を図るため、(公社)森林・自然環境技術教育研究センター(JAFEE)の団体会員として、会員に対してCPD会員への加入を促進する。</p> <p>また、JAFEEが主催する研修会への協力及び同会の認定を受けたプログラムによる研修を実施する。</p> <p>現在、CPDには全協会の会員が参加しており、林土連会員の中で2, 353名がCPD会員(令和7年2月中旬現在)となっている。</p> <p>令和7年度は、JAFEE主催の研修会に3協会が協力するとともに、林土連でも2件のCPD研修プログラムを実施する。</p>	<p>札幌、名古屋、四国の各協会にてJAFEE認定の研修会を開催して協力</p> <p>林土連のCPD研修 (11月17日～18日) ①技術担当者連絡協議会 ②コンプライアンス講習会等</p>
<p>(5) 森林土木技術者育成のための現地指導の実施等</p>	<p>平成28年度から減少傾向にある森林土木の現場技術者を育成・確保することを目的として、地域のニーズや森林土木工事に関する課題に適した現地指導(研修)を行っている。</p> <p>令和7年度は、長野、札幌、名古屋、前橋、四国の各協会からの要請に応じて林土連から研修講師を派遣する予定。</p>	<p>各協会からの要請に応じて実施</p>
<p>2 調査・研究及び資料の収集 (1) 林業土木・木製建造物の経年変化に関する調査研究</p>	<p>林業土木事業での木材利用の促進に資するため、平成23年度から木製治山ダム等の木製建造物の経年変化に関する調査研究を実施している。</p> <p>令和7年度においても各協会の協力を得ながら、全国の22箇所の木製建造物について現地調査を行う予定。</p> <p>また、調査結果の取りまとめ及び報告書の作成については、今年度もコンサルタント会社に委託する予定。</p> <p>なお、調査結果を取りまとめた内容は各協会に情報共有する。</p>	<p>令和7年度も継続実施</p>
<p>(2) 治山・林道事業のPRに必要な写真や動画等の資料収集</p>	<p>林土連ホームページへの掲載や、林野公共事業の予算要望活動の際に活用するなど、森林土木事業の必要性や重要性を対外的に説明するため、治山事業、災害復旧事業及び林道事業に関する写真や動画等の資料を協会員等から収集する。</p>	<p>必要の都度、随時</p>

<p>3 情報収集及び政策提言について</p> <p>(1) 「発注関係事務の運用指針」への対応について</p>	<p>公共工事品確法において、国は公共工事の性格、地域の実情等に応じた入札及び契約の方法の選択などに関する運用指針を定めることとなっている。この指針では、建設業の担い手の確保・育成を図るという基本理念にのっとり、品確法でいう発注者の責務を適切に実施されるよう取りまとめられている。</p> <p>林野庁が実施している「選ばれる森林土木」は今年も引き続き実施されることとなっており、今後とも林野庁の取組み内容を注視していくとともに、各森林管理局で開催される「林野庁キャラバン」等での意見交換の機会通じて的確な要望活動に努める。</p>	<p>必要の都度、随時</p>
<p>(2) 技術担当者連絡協議会の開催（再掲）</p>	<p>会員の施工技術の向上等を図ることを目的として技術担当者連絡協議会を開催する。</p> <p>① 各協会の会員企業から、林業土木工事に係る施工上の課題や設計積算等の改善事項、労働災害防止対策等に関する意見・要望を徴収する。</p> <p>② 第2回林土連技術・安全対策委員会において、各協会から提出された意見・要望事項の内容を精査し、林野庁への改善要望事項として取りまとめる。</p> <p>③ 林野庁及び各協会の担当者が出席のもと技術担当者連絡協議会を開催して、林土連からの改善要望事項に対する林野庁の見解や指導を仰ぐとともに、意見交換を通じて現場実態の共有を図り、各種施策への反映に繋げるよう要請する。</p> <p>④ 技術担当者連絡協議会で協議した改善要望事項等については、林野庁の回答・意見等を付して各協会を通じて全会員と共有を図る。</p>	<p>11月17日に開催予定</p>
<p>(3) デジタル技術を活用した生産性の向上等に向けた取組</p>	<p>工事情報共有システム（ASP）や遠隔臨場を活用した事務の効率化や簡素化に取り組むとともに、現場の通信環境の改善・整備などについて林野庁に要望する。</p> <p>あわせて、工事関係書類のスリム化等に関する要望・問題点などを現場技術者から聞き取り（アンケート調査の実施）、改善に向けた取組みを進める。</p>	<p>逐次、情報収集と提供</p>

<p>(4) 「働き方改革」の推進に向けた取組</p>	<p>週休2日制や時間外労働の罰則付き上限規制の適用等を踏まえ、施工現場での影響や対策、発注者への要望等について意見を聴取し、林野庁担当者に早期対策の検討等を要望する。</p>	<p>逐次、情報収集と情報提供</p>
<p>(5) 設計段階からの品質確保</p>	<p>事業の適切かつ着実な実施のためには、設計段階での品質確保と現地の状況に適切に対応した設計技術の向上が必要と考える。 このため、「森林土木事業設計・施工関係団体連絡会」を組織し、情報交換を行うこととし、令和7年度も引き続き必要に応じて情報交換や林野庁への提言の作成などを検討する会議を開催する。</p>	<p>逐次、情報交換と提言 ・第1回の連絡会を1月29日に開催 ・4月下旬に林野庁を招いての連絡会主催の勉強会を開催予定</p>
<p>4 表彰について 林土連会長表彰の実施</p>	<p>協会の目的達成のために尽力し、協会の発展に貢献のあった者として各協会から推薦があった林土連会長表彰の候補者を表彰者選考委員会で審査・決定し、理事会に提出、承認を受けたうえ、定時総会の場で林土連会長から受賞者に表彰状を授与する。</p>	<p>12月までに表彰者を決定の予定 (8年度定時総会で表彰)</p>
<p>5 普及啓発及び広報 (1) 林土連会報の充実</p>	<p>林土連の活動情報や、林野公共事業に関する各種情報、労働安全に関する情報など、会員向けの情報誌である会報「林土連」を定期的に発行する。 会報の発行にあたっては、会員のニーズにあった充実した内容となるよう努める。</p>	<p>令和7年度発行(発行済及び予定) 1月号：新年号、予算 3月号：定時総会、受賞者紹介 5月号：安全管理 9月号：概算要求 11月号：技術現地研修会</p>
<p>(2) 技術向上のための調査研究活動への参画・支援</p>	<p>治山研究会、林道研究会が主催する研究発表会や治山シンポジウム、講演会への参画・支援を行う。 また、森林部門技術士会、日本林業技士会、JAFEE等の会員として、それぞれの会の活動を支援するとともに、現場技術者の養成や技術の向上に寄与する。</p>	<p>必要に応じて適宜</p>

2 労働災害の防止対策

項 目	具 体 的 実 施 内 容	実 施 時 期 等
1 労働災害防止の推進と指導について (1) 林土連技術・安全委員会〔再掲〕	技術の向上、労働災害防止のための対策等の企画・立案を行う。	第1回4月2日に開催（リモート） 第2回10月上旬に開催予定
(2) 労働災害防止研修会	令和7年度も引き続き労働災害防止研修会を開催する。	11月18日に開催予定
(3) 労働安全点検、安全指導の実施	① 安全指導 重大災害が発生した場合には、災害の概報等を各協会に共有し、類似災害の未然防止に向けた対応を指導するとともに、該当の協会に対しては協会と連携して現地調査を行うなど、重大災害発生地域を重点とした安全指導等を行う。 ② 労働災害防止ポスターの作成配布 労働災害防止活動に資するため、労働災害防止ポスターを製作し、各協会に配布する。 ③ 会報を活用した労働安全防止活動の事例紹介 会報等を利用して災害防止活動の事例等を紹介することにより、会員等に対する労働災害防止に関する注意喚起や意識の向上に努める。	各協会と連携して実施を検討 5月にポスターを各協会に配布予定 5月発行の会報を安全特集号として発行予定。
(4) 労働災害防止上積補償保険の実施	重大災害発生対策の一環として、三井住友海上火災保険が引受会社となり（一財）日本森林林業振興会が取り扱う労働災害上積補償保険（団体労災保険）への加入促進に努める。	保険期間 毎年6月1日から翌年同日まで
2 労働衛生の維持・向上について	快適な作業環境の維持と職員等の健康管理を目的として、作業環境管理及び健康管理を推進する。 さらに、熱中症やメンタルヘルス、職業性疾病及び流行性疾病などの情報収集と提供、関係機関等と連携した周知活動等を実施する。	遅滞なく随時

<p>3 その他</p> <p>(1) 労働災害防止等に関する情報の収集、提供</p>	<p>令和7年度も、引き続き厚生労働省、林野庁等から労働衛生に関する各種情報を収集し、速やかに各協会に周知する。</p>	<p>遅滞なく随時</p>
<p>(2) 労働災害防止関係機関等との連携</p>	<p>「建設業労働災害防止協会（建災防）」、「林業・木材製造業労働災害防止協会（林災防）」等と連携を図り、入手した情報については速やかに各協会へ周知し、労働災害防止対策の推進と徹底に努める。</p>	<p>遅滞なく随時</p>

報告・説明－４

令和７年度林土連コンプライアンス講習会 令和７年度林土連労働災害防止研修会の開催について

【林土連コンプライアンス講習会】

- 1 日 時 令和７年１１月１８日（火） 9:30～10:30
- 2 場 所 DAYS赤坂見附 4A会議室
東京都港区赤坂３－９－１ 紀陽ビル
- 3 内 容
演題：建設業のコンプライアンス
講師：林土連専務理事 堂本 整
- 4 受講者 各協会から３名程度 合計 約５０名

【林土連労働災害防止研修会】

- 1 日 時 令和７年１１月１８日（火） 10:30～12:00
- 2 場 所 DAYS赤坂見附 4A会議室
東京都港区赤坂３－９－１ 紀陽ビル
- 3 内 容
演題： 未定（10月末決定予定）
講師：東京管区気象台（9月末決定予定）
- 4 受講者 各協会から３名程度 合計 約５０名

森林整備・治山事業促進議員連盟 総会

(令和7年8月26日 @参議院議員会館 B109会議室)

1 開催主旨

森林整備・治山事業促進議員連盟

昨今の激甚な災害の発生に対し、国民のいのちと暮らしを守る「緑の国土強靱化」をはじめ、ネットゼロや地方創生の実現、花粉発生源対策の加速化への対応、森林資源の循環利用の実現に向け、森林整備・治山対策の推進は不可欠。林野公共事業に係る令和8年度当初予算等の確保に全力で取り組む必要があるため、森林整備・治山事業促進議員連盟において総会を開催。

2 日 時 令和7年8月26日 (火) 15:00~16:00

3 場 所 参議院議員会館 B109会議室

4 出席議員 山口俊一議連会長はじめ **国会議員18名**(代理出席含め約**50名**)

5 出席団体 ○ (一社) 日本治山治水協会 ○ (一社) 全国森林土木建設業協会
○ (一社) 日本林業土木連合協会 ○ 全国森林組合連合会

6 概要

山口俊一議連会長、滝波農林水産副大臣からの挨拶の後、山藤 全国森林土木建設業協会会長、泉 日本林業土木連合協会副会長、中崎 全国森林組合連合会代表理事会長から要望陳述。議連会員との活発な議論や意見交換等を踏まえ、決議文を採択し、盛会のうちに終了。

※後日、山口会長はじめ議連の国会議員により財務省に対し、決議文を手交予定。

◆総会の様子(決議文の採択等)◆



山口会長



田村幹事長

【山口会長ご発言】

ご多忙の中出席いただき感謝。今年は九州をはじめ線状降水帯が発生するなど、気候変動の影響が大きくなっている。第1次国土強靱化実施中期計画も踏まえ、森林整備・治山対策を強力に推進する必要。林野公共予算はもう少しで区切りのいい数字になる。予算獲得に向けて頑張ろう。

現場の声

今年も大雨等により各地で甚大な被害が発生し、現場で鋭意復旧事業に取り組んでいるところ。激甚化する山地災害への対応に加え、森林吸収源対策や木材の安定供給等に向け、森林整備・治山事業による緑の国土強靱化や資源の循環利用の推進が重要。

地域の要望に応えるための十分な予算確保に向け、引き続き先生方の強力なご支援をお願いするとともに、我々も地域の安全・安心の担い手、雇用の受皿としての役割を担っていく所存。

山藤会長
(全森建)泉副会長
(林土連)中崎会長
(全森連)

田野瀬事務局次長



滝波農林水産副大臣

決議に向けた議論の様子



令和八年度 林野公共事業予算に関する決議

我が国は、地形が急峻で、地震や火山活動も活発であり、梅雨や台風時期の豪雨等により、災害を受けやすい宿命を負っている。特に、近年、地球温暖化の影響により、線状降水帯の発生等による山腹崩壊等の被害が多発している。本年も、八月の大雨などにより全国各地で被害が発生した。また、地球温暖化による異常な乾燥・強風は、大船渡市をはじめ、岡山県や愛媛県でも大規模な林野火災の発生をもたらした。

これから台風期を迎える中、こうしたリスクへの対処は待ったなしの状況にある。国民の安全・安心な暮らしを実現するため、復旧対策はもとより、事前防災・減災をはじめ、森林整備・治山対策による緑の国土強靱化を一層強力に推進していかねばならない。

あわせて、ネットゼロや地方創生、我が国の社会問題とも言われる花粉症への対応、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を実現するためには、林野公共事業の強力な推進が必要である。

令和七年度においては、当初及び補正予算で二千七百億円を超える予算を確保したところ、資材高騰や賃上げの状況下で事業量を確保するためには、前年度を超える十分な予算措置が必要である。

以上を踏まえ、森林整備・治山事業促進議員連盟は、林野公共事業予算について、必要な予算を当初予算で重点的に確保することにより、思い切った増額がなされるよう、財政当局をはじめ政府に対し次の項目について特に強く要望する。

一、近年の度重なる豪雨、大規模な地震や林野火災等による被害を受けた荒廃山地の復旧対策を着実に進めるとともに、事前防災・減災対策を含め、山地災害で得られた教訓等を踏まえた治山対策を強力に進めるため、治山事業予算の拡充を図ること。

一、森林資源の循環利用及び花粉発生源対策の加速化に資するよう、強靱で災害に強く、林野火災の防止にも資する林道の整備、主伐後の確実な再生林や間伐等を強力に推進するため、森林整備事業予算の拡充を図ること

一、森林整備・治山対策の加速化・深化を図っていく必要があることから、本年六月に閣議決定された「第一次国土強靱化実施中期計画」を踏まえ、資材高騰や人件費増に対応した十分な予算を別枠で確実に確保した上で、森林整備・治山対策を計画的かつ強力に推進すること。

一、大規模災害が発生した際の体制強化や現場での予防・復旧対策の確実な実施等のため、森林管理局等における現場技術を有する人材の育成・確保を図ること。また、歩掛の見直しや適正な工期の設定など、林野公共事業の円滑な実施に向けた取組を推進すること。

一、林野公共事業の推進を通じた山村地域の振興を図るとともに、機械、資源情報など生産基盤の確保、人材育成など担い手の確保、若者・高齢者等にも働きやすく、安全で魅力ある産業となるためのスマート・デジタル技術の活用を推進すること。

一、森林環境譲与税は、自然的・社会的条件が不利な森林の整備を推進するという新たな需要に対応するものであることから、引き続き、林野公共事業予算がめり込むことのないようにすること。

右、決議する。

令和七年八月二十六日
自由民主党 森林整備・治山事業促進議員連盟

令和7年8月1日

林業土木協会事務局長 各位

林土連専務理事 堂本 整

令和8年度当初予算に係る要望活動について

連日の猛暑の中、お疲れ様です。

また、事務局長の皆さまには、常日頃より林土連の活動全般にわたりご理解、ご協力いただきありがとうございます。

さて、先月10日（木）の林土連三役会議に併せ、農林水産省政務三役と林野庁幹部に対して来年度予算に関する要望書を手交し、林野公共事業予算の増額確保などについて要望活動を行いました。

つきましては、各林業土木協会におかれましても例年同様に、お盆や夏休みを利用して帰省している地元国会議員及び関係機関に対して、来年度予算の確実な確保に向けた要望活動を実施していただきますようよろしくお願いいたします。

なお、今後の林土連による令和8年度林野公共事業予算に関する要望活動の予定は下記のとおりとなっておりますので、参考にしてください。

記

今後の予算要望活動の予定

- 1 森林整備・治山事業促進議員連盟総会（8月26日）
関係団体と協力して来年度予算に関する要望陳述を実施
- 2 関係3団体による予算要望活動
11月上旬を目途に、関係3団体が合同で、財務省主計局長、農林水産大臣、林野庁幹部、関係国会議員に要望書を提出して予算要望活動を実施
- 3 2025治山・林道のつどい（11月19日）
関係団体と連携して「現場からの声」を陳述
11月17・18日の林土連主催会議の出席者を中心に参加を要請
- 4 森林整備・治山事業促進議員連盟決起大会（11月下旬）
関係団体を代表して林土連から要望陳述を行う予定
近隣の林業土木協会の会員等に参加を要請

参考－１

令和７年度 林土連の主な活動

１月

- ６日（月） 林業関係団体賀詞交換会（航空会館）
- ７日（火） 事務局長定例会議（リモート）
- １５日（水） 林土連懇話会監査（リモート）
日本治山治水協会理事会（都市センターホテル）
- １７日（金） 令和６年度林土連事業及び会計監査（山王グランドビル）
- ２１日（火） 林業団体懇談会（航空会館）
- ２３日（火） 第１回理事会、三役会議、コンプライアンス委員会（海運クラブ）
- ２９日（水） 森林土木事業設計・施工関係団体連絡会（山王グランドビル）
- ３０日（木） 長野林業土木協会現場責任者技術研修会（松本市）

２月

- ３日（月） 事務局長定例会議（リモート）
緑の募金中央林業団体協力会代表世話人会（砂防会館）
- ４日（火） 日本林業協会理事会（林友ビル）
- ７日（金） 日本林業技士会理事会（日林協会館）
- １２日（水） 森林部門技術士会理事会（リモート）
- １８日（火） 令和７年度林土連定時総会及び
創立６５周年記念行事（ホテルルポール麹町）
- １９日（水） 林道安全協会理事会（ホテル東京ガーデンパレス）
- ２５日（火） 日本林業協会総会（航空会館）
- ２７日（木） 前橋林業土木協会定時総会（高崎市）

３月

- ３日（月） 事務局長定例会議（リモート）
- ４日（火） 函館林業土木協会定時総会（函館市）
- ５日（水） 札幌林業土木協会定時総会（札幌市）
- ６日（木） 東京林業土木協会定時総会（ホテルイースト２１）
- ７日（金） 北見林業土木協会定時総会（北見市）
- １１日（火） 名古屋林業土木協会定時総会（名古屋市）
- １８日（火） 青森林業土木協会定時総会（青森市）
- ２６日（水） 林道事業百年史執筆者打合せ会議（山王グランドビル）
- ２７日（木） 旭川林業土木協会定時総会（旭川市）

4月

- 2日(水) 第1回技術・安全委員会(リモート)
- 7日(月) 事務局長定例会議(リモート)
- 8日(火) 森林部門技術士会理事会(リモート)
- 15日(火) 九州林業土木協会定時総会(熊本市)
- 18日(金) 林道安全協会監査(山王グランドビル)
設計積算基準等の改正に関する勉強会(山王グランドビル)
- 23日(水) 秋田林業土木協会定時総会(秋田市)

5月

- 7日(水) 事務局長定例会議(リモート)
- 10日(土) みどりの感謝祭(イイノホール)
- 12日(月) JAFEE監査(アルス市ヶ谷)
- 13日(火) 長野林業土木協会定時総会(長野市)
- 15日(木) 全木連通常総会(木材会館)
- 19日(月) 森林整備・治山事業促進議員連盟総会(自民党本部)
- 21日(水) 札幌林業土木協会現場責任者技術研修会(札幌市)
- 22日(木) 四国林業土木協会定時総会(高知市)
- 27日(火) 名古屋林業土木協会技術講習会(高山市)
- 28日(水) 帯広林業土木協会定時総会(帯広市)
- 30日(金) 林業改良普及協会定時総会(町村議員会館)

6月

- 2日(月) 事務局長定例会議(リモート)
- 3日(火) 林活地方議連全国連絡会議役員会(林友ビル)
- 5日(木) 全国森林レクリエーション協会定時総会(林野会館)
- 9日(月) JAFEE定時総会(アルカディア市ヶ谷)
- 11日(水) 大阪林業土木協会定時総会(大阪市)
- 13日(金) 林業機械化協会定時総会(NS虎の門ビル)
- 20日(金) 日本林業技士会第2回定時総会(日林協会館)
- 24日(火) 森林部門技術士会理事会(リモート)
- 25日(水) 日本治山治水協会理事会(霞山会館)
全国森林土木建設業協会定時総会(霞山会館)
- 30日(月) 森林土木事業における適切な発注事務に関する説明会
(北海道森林管理局)

7月

- 7日(月) 事務局長定例会議(リモート)
- 10日(木) 第2回林土連三役会議(海運クラブ)
令和8年度林野公共事業予算に関する要望活動(農林水産省)
- 15日(火) ~17日(木)
北見林業土木協会、帯広林業土木協会打合せ会議(北見市ほか)

- 22日(火) みどりの感謝祭運営委員会(農林水産省)
- 24日(木) 前橋林業土木協会林業土木技術者研修会(前橋市)
- 29日(火) 前橋林業土木協会林業土木技術者研修会(長岡市)
- 30日(水) 東京林業土木協会林業土木施工管理講習会(ホテルイースト21)

8月

- 4日(月) 事務局長定例会議(リモート)
- 7日(木) 前橋林業土木協会林業土木技術者研修会(郡山市)
- 18日(月) 林土連技術現地研修会事前打合せ(軽井沢町)
- 25日(月) 林活地方議連役員会・定時総会(航空会館)
- 26日(火) 森林整備・治山事業促進議員連盟総会(参議院議員会館)
- 28日(木) 国土緑化推進機構定時総会(アルカディア市ヶ谷)

参考－2

林土連の当面の行事予定

(注) 時間・内容は変更する場合がある

【令和7年(2025)】

10月 9日(木)	第2回技術・安全委員会(山王グランドビル)	14:00~17:00	BF 会議室
10月22日(水) ~23日(木)	林土連技術現地研修会(軽井沢町ほか)		
11月17日(月)	技術担当者連絡協議会(DAYS赤坂見附)	13:30~17:00	4A 会議室
11月18日(火)	コンプライアンス講習会及び労働災害防止研修会 (DAYS赤坂見附)	9:30~12:00	4A 会議室
11月19日(水)	治山・林道のつどい(海運クラブ)	13:30~14:30	2階ホール
11月下旬	森林整備・治山事業促進議員連盟決起大会 (場所&時間 未定)		
12月 4日(木)	第3回理事会(海運クラブ)		
	三役会議	15:00~15:30	306
	理事会	15:30~16:30	303
	林土連懇話会	16:30~16:50	〃
	林野庁説明	17:00~18:00	〃
	意見交換会	18:15~19:30	304

【令和8年(2026)】

1月22日(木)	第1回理事会(海運クラブ)		
	三役会議	12:00~13:00	306
	コンプライアンス委員会	13:00~13:20	〃
	理事会	13:30~14:30	303
	林土連懇話会	14:30~14:50	〃
	林野庁説明	15:00~16:00	〃
2月17日(火)	令和8年度定時総会及び関連行事(ホテルルポール麴町)		
	定時総会	15:00~16:00	ロイヤルクリスタル
	林土連懇話会総会	16:10~16:30	〃
	表彰式	16:40~17:20	〃
	懇親会	18:00~19:30	〃
4月上旬	第1回技術・安全委員会(リモート) (場所&時間 未定)		
5月下旬	森林整備・治山事業促進議員連盟総会 (場所&時間 未定)		
7月上旬	第2回三役会議(海運クラブ)	13:30~14:30	306
	予算要望活動	15:00~16:30	農林水産省

令和7年度林土連第2回理事会 出席者名簿

理事会(16:00～17:00)

役員

役職	協会等	氏名	備考
会長	旭川	新谷 龍一郎	
副会長	長野	木下 修	
	青森	田中 進	
	大阪	泉 巖	
理事	北見	五十嵐 龍	
	帯広	萩原 一利	
	札幌	岸本 真一	
	函館	戸沼 淳	
	秋田	那須 正	
	前橋	鈴木 秀城	
	東京	河津 市元	
	名古屋	三尾 秀和	
	四国	嶋崎 勝昭	
	九州	牟田 正明	オブザーバー
監事	東京	大藤 博文	
	長野	水本 豪	
専務理事	林土連	堂本 整	

各協会事務局長

協 会	職 名	氏 名	備 考
旭 川	常務理事	小 野 寺 功	
北 見	事務局長	稲 川 著	
帯 広	常務理事	松 本 誠 司	
札 幌	常務理事	中 塚 智 之	
函 館	常務理事	岩 山 誠	
青 森	常務理事	田 中 裕 治	
秋 田	常務理事	佐 藤 輝 寛	
前 橋	常務理事	坂 本 和 隆	
東 京	常務理事	小 松 弘 之	
長 野	常務理事	永 井 隆 雄	
名古屋	専務理事	千 葉 求	
大 阪	常務理事	牧 田 圭 司	
四 国	専務理事	川 久 保 康史	
九 州	常務理事	森 本 義 春	

林土連事務局

林土連	事務局長	山 本 文 雄	
	事務局員	豊 田 紫	

林野庁出席者名簿

林野庁説明(17:00～18:00)

区 分	職 名	氏 名	備 考
林野庁 業務課	課 長	岡 村 篤 憲	
	企画官	藤 原 司	

2

意見交換会(18:15～19:30)

職 名	氏 名	備 考
林野庁長官	小 坂 善太郎	
国有林野部長	長崎屋 圭 太	
森林整備部長	齋 藤 健 一	
計画課長	土 居 隆 行	
施工企画調整室長	有 山 隆 史	
施工技術班担当課長補佐	小 嶋 公 輝	
設計基準班担当課長補佐	島 田 喜代司	欠席
施工技術班積算基準係長	早 川 慶	
整備課長	諏 訪 幹 夫	
治山課長	村 上 幸一郎	
山地災害対策室長	徳 留 善 幸	
経営企画課長	石 井 洋	
業務課長	岡 村 篤 憲	
業務課企画官	藤 原 司	
業務課治山班担当課長補佐	野 澤 智 明	
業務課路網整備班担当課長補佐	佐 藤 元 徳	欠席
業務課災害対策班担当課長補佐	大 澤 学	
業務課災害対策分析官	佐 井 正 幸	
業務課森林土木専門官	加 藤 正 治	

19

17